

Saiseikai Kawamata Hospital

【発行】済生会川俣病院

〒960-1406 福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字川端2-4



かわはた

臨床研修指導実施について



診療部長 佐々木 俊教

平成二十七年・二十八年の秋、大阪府の済生会中津病院から三名ずつ、研修医の先生方を迎えて、地域医療について臨床研修指導を行いました。

研修期間は、一人あたり三週間と短期間ではありませんでしたが、当院の他になでしこ川俣や春日診療所、光風園での研修もあり、結構充実していたと自負しています。勤務時間外の生活はさらに充実していたとの話もあるようです。

そもそも 医師の地域医療の臨床研修って何？という方々もおられると思いますので、ここで簡単に説明しておきます。

平成十六年に新医師臨床研修制度がスタートし、診療に従事しようとする医師は二年以上の臨床研修を受けなければならない。医師法第十六条の二と、これまで努力規定であった臨床研修が必修科目になりました。その制度によって、地域医療は必修科目になりました。これは、「へき地・離島医療への理解が深まり、へき地へ赴く医師が増加すること」を目的としています。そして、当院もいっしょに協力型臨床研修病院として二年目の研修医の先生を受け入れ、地域医療について研修指導をすることになりました。

臨床研修の初日はオリエンテーションから始まりました。研修医の先生は、多くの職員にとって、自分の子供ほど年齢が離れています。私達は、なんとも言えない緊張感を持って迎えしました。研修医の先生も、不慣れた土地に来て不安感があつたと思います。しかし、さすがに適応力が素晴らしく、すぐに当院方式に順応していたようです。いずれの先生方も「福島県に足を踏み入れたことすらほとんどない」との話でしたので驚きました。

研修内容は、地域医療がテーマということもあり、院内での研修よりも院外での医療を重視しました。というのも、内科と救急科はすでに研修を終了しているため、基礎的な医療は全く心配ないからです。そのため、訪問診療や訪問看護への同行診療や、特養や老健、養護老人ホームでの診療などを重点的に行いました。

なお、研修医の先生を受け入れたのは今回が初めてではありません。二年前にも同じく中津病院から一名受け入れ、同様の研修指導を行いました。この時も今回同様、研修を売りのものにして頂きたく、職員一同の総力を挙げて、日中のみならず、夜も歓迎しました。詳細不明)そして、その結果が現在の受け入れに繋がったものと思います。この紙面をお借りして、協力して頂いた職員の方々に厚く御礼申し上げます。



平成二十七年七月 研修 池村彩華 先生

今回、川俣病院で地域研修を行い、色々な経験が出来たと思います。私が地域研修を通して、とても印象に残っている三つのことを挙げたいと思います。

ひとつ目は、地域の人の自宅の往診へ一緒に行かせて頂いたことです。私の父も川俣病院の先生と同様に、地元沖縄で往診をされており、幼い頃一緒にいて、車の中で父の帰りを待っていたことを思い出して、父との懐かしい思い出に浸るとともに地域の人と密接に関わっているスタッフの人達の姿をみて、地域医療の素晴らしさを感じました。往診へ行くことで、実際の介護状況をみて、家族の大変さを分かち合うことができ、患者さんだけでなく、家族にも寄り添うことが地域医療ではとても大切なのだと思います。

ふたつ目は、なでしこ川俣の特別養護老人ホームはなづかを見学に行かせて頂いたことです。大阪にもあるのですが、入院された患者さんが行く準備はするもの但实际上にどのような施設なのか見る機会がなく、見る事ができ、本当によかったと思います。

みっつ目は二十一年の東日本大震災を経験した病院の方々から話を聞き、その当時の実際の状況を聞いたことです。また、被害の大きかった相馬市などの現在の状況を見て、四年経った状況に対して驚きました。

今回、川俣病院での研修を通して、地域医療の素晴らしさを知るとともに大変さも学ぶことができたと思います。また限られた検査の中での判断能力や診断能力の大切さを強く感じました。そのためにも、幅広い知識や柔軟な対応の必要性の再確認ができ、本当に良かったと思います。

行く前は新しい土地であり、新しい病院に行く不安もありましたが、病院のスタッフの皆様が暖かく迎え入れてくださり、楽しく充実した地域研修ができました。すぐくアットホームな雰囲気のある病院であり、皆様が気さくに話しかけてくださり、病院での仕事もとても楽しかったです。また、休日には福島県の観光スポットに連れて行って頂き、福島県をととても満喫することができました。本当にありがとうございました。三週間という短い期間でありましたが、お世話になりました。最後になりましたが、川俣病院のスタッフの皆様をますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



平成二十七年九月 研修 栗本浩行 先生

済生会川俣地域ケアセンターは、済生会川俣病院を中心とし、急性期から慢性期、福祉、介護、在宅に至るまで、それぞれが連携し、円滑なサービス提供を果たしています。

普段の研修生活では、急性期医療を中心に診ており、急性期という患者にとっても一部の間際にしか携わっていません。それも、急性期の医療というものは、しばしば治療対象が「患者」ではなく「病气」という側面があるかもしれません。今回の研修では急性期のみではなく、慢性期、福祉、介護、在宅まで携わることができ、患者の病气だけでなく、患者の背景、生活、将来、人生、つまり患者全てを視野に入れた一貫した医療を肌で感じる事ができました。この一貫した医療こそ地域医療の本質だと思います。

また、地域医療とは、単純に地域で医療を施すことではなく、地域の患者と長く付き合ひ、患者と信頼関係を築くことだと、とある先生から教えていただきました。私が研修した三週間弱では、教えていただいた地域医療のほんの一面を経験した程度であると思いますが、完全に地域に密着し、地域から信頼される済生会川俣地域ケアセンターに関わることができて非常に勉強になりました。

済生会川俣病院の「一番好きなきこころ」は、医師、看護師、技師、事務員、全ての職員が分け隔てなく、温かい雰囲気、院内での職員同士の挨拶がとても爽やかなことです。私の研修している済生会中津病院は七百床ほどの大規模病院で職員数は千四百人以上います。当然、全員を把握することは出来ず、悪いことだと自覚はしていますが、挨拶が希薄になっている場面も多々あります。天きい病院だから、職員数が多いから」は言い訳でしかなく、ちゃんと済生会川俣病院を見習っていかねればと思います。実際に、今現在ローテートしている科では、積極的にスタッフの名前を覚え、挨拶をしっかり心がけています。そのせいか職員とのコミュニケーションが円滑になり、患者の細かい情報も耳に入るようになり、スタッフ同士のコミュニケーション改善が患者への医療に還元できている気がします。この習慣をこれからも続けていきたいと思っています。

三週間という短い期間でありましたが、温かく歓迎して頂き、非常に良い環境で研修することができました。病院に貢献するような働きはできませんでしたが、この地域研修で学んだことを今後の医者人生に活かしていきたいと思っています。お世話になりました。誠に有難うございました。

平成二十七年十月 研修

是松瑞樹 先生



済生会川俣病院を始めとした済生会川俣地域ケアセンターの皆様には本当にお世話になり、どうもありがとうございました。

今回の研修では午前中は外来診察 永曜日ほめがみ・はなづかでの研修、午後は訪問診療や訪問看護、光風園の往診に同行させていただいたり、入院患者さんの回診などをさせていただきました。私が普段勤務している済生会中津病院とは違い、川俣病院では患者さん一人一人の入院期間が長く、退院してもすぐに再入院になる方や、施設に入所される方、訪問診療を受ける方などが大変多いです。自然と医療従事者と患者さん・そのご家族との関係も濃密なものになります。濃密である分、「コミュニケーションをしっかりと取っていかねければ医療従事者側と患者さん側との向いている方向がどんどん乖離してしまつてしまつて感じました。具体的などころでは、中津病院の様な急性期病院では患者さんもご家族も、検査でも治療でもとにかくできることはやってほしいとおっしゃる方がほとんどですが、高齢者・超高齢者も多い川俣病院では、原因はわからなくてもいい、自然な経過で最期まで・・・とおっしゃる方が非常に多いところなどです。どちらが良い、悪いではなく、急性期が中心である病院と、慢性期の患者さんが多い病院との違いを身をもって実感しました。いずれにせよ、患者さんやご家族の意思をしっかりと理解し、同じ方向を向いて歩いていくことが大切だと感じました。

研修を通じて様々な施設や部署の方々と関わらせていただいたのですが、様々なところで若いとかベテランとかに関係なく、皆さんが現状をより良くするにはどうしたらいいか考えておられ、時には熱い議論をされているのを見て、刺激を受けました。

また、今回の研修では勤務時間と同じか、それ以上にアフター5の活動が充実していました。ほぼ初心者なのにゴルフコンペに誘っていたいたり、「コスキンを見たり、一週連続で二本松城に行ったり、安達太良山へ行ったり、山形への組合旅行に同行させていただいたり、飲み会を企画していただいたり・・・と、本当に毎日いろいろなイベントに参加させていただきました。当初は家のすぐ近くにTSUTAYAがあるのを見つければ、この三週間で何本映画観れるかな、などと考えていましたが、そんな暇は全くなく、毎日が本当に充実していました。

三週間と短い期間ではありませんでしたが、川俣病院で学ばせていただいたことはこれらの医師人生の様々な場面で思い出されることと思います。日本で医療に携わっている限り、どこかでお会いする機会が多分にあると思いますので、その時はまたよろしくお願ひします。

平成二十八年八月 研修

古市拓也 先生

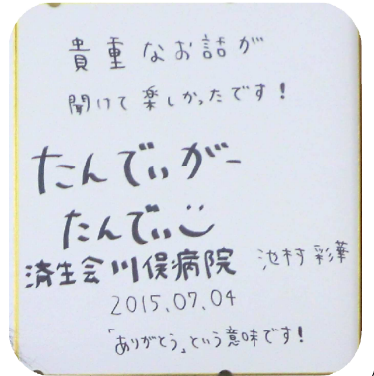


この度は地域実習で大変貴重な経験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

僕が地域実習で大分ではなく川俣病院を選んだのは前年に行った先輩がた 是松さんが特にですが、大変勧めてくれたからです。僕自身福島県自体行ったこともなく、また東北も行ったことがなかったので、どんなところだろうとワクワクしながら向かいました。僕が行ったのは八月だったので行ってみると大変暑い街だなというのが最初の印象です。病院自体も地域に根づいた、川俣地区の中核病院であり、入院している患者さんも経過の長い人が多いという印象でした。しかし大阪の病院で経験できないような往診や訪問看護、訪問リハなどを体験でき、本当に多くの周りの方々の協力があって医療が成り立っているんだなと感じ、本当の地域医療を実感出来ました。医療現場についても得たものは大変多いのですが、それと同等に大きなものを得たのが人々の暖かさでした。一ヶ月と長いよう但实际上は行ってみると一瞬でした。歓迎会や会津旅行、バドミントン、日頃の飲み会、夏祭り、送別会などその他多くの楽しい時間を過ごす事が出来ました。鈴木さんが初めに「記憶に残る地域実習にしてほしい」と言っていました。本当にその通りになりました。会津旅行では美味しい日本酒も手にいれる事ができ、野口英世記念館では自分も世界に羽ばたける医者になりたいと思うようになりました。送別会で皆さんに書いて頂いた寄せ書き大切に持っています。本当に一ヶ月間お世話になりました。

来年の後輩にも川俣病院を勧めておきました。四人程度いるようです。また福島県に行くときはぜひぜひ宜しくお願いします。

～思い出の一枚～



平成二十八年九月 研修

熊野景太 先生



今回の研修では済生会川俣病院を始めとした済生会川俣地域ケアセンターの光風園・なでしこ川俣・春日診療所、そして川俣ホームの見学や研修をさせていただきました。済生会中津病院にも特別養護老人ホームや介護老人保健施設などは併設されていますが、深く関わる機会もあまりなく、どのような施設なのかイメージを掴めていませんでした。今回の研修では各施設の見学や診療に実際に関わらせていただき、多くの利用者の方が楽しく日常を過ごしたり、日常生活へ戻るためにリハビリに励んでいる姿を拝見し、各施設の役割の重要性を知ることができました。

また研修中、特に印象に残ったのが、患者さんたちが川俣病院のことを「済生会」と呼んでいることでした。福島県立医大を「医大」と呼ぶことも他地域から来た私にとっては馴染みがなかったのですが、県唯一の医大だからそれで通じるのだと納得しました。

しかし、済生会については済生会福島病院という非常に大きな病院が近隣にあるにもかかわらず、地域の方にとって済生会といえば川俣病院となるほど、地域から信頼されている病院なのだと強く実感しました。

恥ずかしながら今回研修にくるまで川俣町の「一部も原発事故による避難地域に入っていると知りませんでした。川俣病院も震災で被災し、被災者の受け入れで大変であったこと、現在も除染作業が続いており復興作業の半ばであることも今回初めて知りました。しかしながら山木屋地区の帰還が進み、この十月からは山木屋診療所の再開も復興についても着実に進んでいるということも強く実感しました。

三週間という短い期間でしたが、各施設の職員の皆様方には非常に親切にしてください、充実した研修を送ることができました。また機会がありましたらぜひ川俣町を訪れたいと思います。本当にありがとうございました。

もし、五十肩と言われたら

作業療法士 渡邊友樹

I. 初めに

肩関節周囲炎とは、肩関節の炎症によって痛みが起き、その代表的なものに、『五十肩』というものがあります。が、肩関節の痛みは「石灰性腱板炎」や「腱板断裂」などからも起こります。上記の二つの病名も広い意味で肩関節周囲炎に含めることもありですが、肩関節に障害があり、しっかりとした診断名がつけられる場合は、肩関節周囲炎から除外しているため、肩関節周囲炎という場合、一般的には五十肩のことをいいます。

II. 原因

五十肩では、筋肉と骨とを結びつける「腱板」や、骨と骨とを結びつける「靭帯」に炎症が起こります。また、筋肉と筋肉のすき間や、筋肉や腱板のすき間に炎症を生じることもあります。こうした炎症が痛みを引き起こし、悪化すると、肩関節の拘縮の原因にもなります。

さらに、肩関節の周囲には、肩の骨を覆っている関節包などがあり、関節の動きを滑らかにする滑液をつくるとともに、クッションの働きをしています。五十肩の場合、これらの弾力も失われ、炎症を起こします。

このような肩関節の変化を起こす原因として、加齢に伴う組織の変性、神経が圧迫されて起こる障害、外傷、自律神経障害、血行障害などが考えられています。しかし、今の所どれが原因で起こるのかは、はっきりしていません。

III. 運動

まず、重要なのは無理をせずに、痛みが強くない程度に行うことが大切です。また、必ず五十肩と診断されたから、正しいやり方を医療機関で指導を受けて行う様にして下さい。

五十肩では、肩関節を動かさずにいると関節が固まってしまい、ますます動かすにくくなっていきます。痛みが和らいできたら、体操を行って、関節を積極的に動かすようにしてください。体操は、段階を追って、関節を動かせる範囲を徐々に広げていくことが肝心です。体操を、毎日繰り返し行うことで、関節の動きが滑らかになるとともに、血行が良くなり、筋肉が徐々にほぐれる効果が期待できます。



第十一回なでしこ健康講座開催

社会福祉士 櫻井公大

平成二十八年十一月十六日(金)十三時三十分から、川俣町東福沢農村広場応急仮設住宅集会所にて「第十一回なでしこ健康講座」を開催し、九名の方に参加いただきました。

今回は済生会川俣病院内科医の山口鶴子先生に「医師に聞きたい健康上の悩み」皆さんのご質問にお答えします」という題目での講演と、済生会川俣地域ケアセンター相談員部会から「済生会川俣地域ケアセンターのご紹介」という題目で済生会川俣地域ケアセンター各施設のご紹介をさせていただきました。

徐々に仮設住宅からの帰還が進む中、また新たな環境での生活がスタートする避難者の方のお役に立てるよう、今後も誠心誠意尽力して参ります。



第11回なでしこ健康講座

済生会川俣地域ケアセンター



私は「なでちゃん」です！
済生会川俣病院の
マスコットキャラクターとして、
これからたびたび登場します。
よろしくお祈りします

第69回済生会学会

平成28年度済生会総会



第69回済生会学会・平成28年度済生会総会が1月28日～1月29日の2日間、パシフィコ横浜・国立大ホール・会議センターで学会長の横浜市南部病院の今田敏夫院長の挨拶から始まり、秋篠宮殿下ご臨席の下、全国から約2,500人が参加し、

「**済生会の伝統継承と未来への挑戦**」をテーマに開催されました。一般演題が493演題あり、川俣病院からは看護部、事務部より2演題の発表となりました。

総会は7名が参加し、永年勤続表彰を受けました。受賞者よりコメントを頂きましたのでご紹介いたします。

〈 演題名 〉

- 立川篤史看護師長心得
～WLBを通して働きやすい職場環境を整え4年目を迎えて～
- 鈴木紀子総務課長
～人事評価制度導入に向けて～

30年表彰

～30年永年勤続表彰を受けて～

済生会川俣病院 院長 佐久間博史

去る平成29年1月29日、パシフィコ横浜で行われた平成28年度済生会総会で永年勤続30年表彰の栄に浴し、更に総会後の懇親会では秋篠宮殿下から直接お言葉を賜わり感激の極みでした。

思えば私が済生会川俣病院に赴任したのは昭和60年11月で弱冠35歳でした。病院は、鉄筋コンクリート2階建てで酸素のパイピングはなく、病室の窓はサッシではなく、すき間風が入るため新聞紙で目張りをし、院長室は病室と同じ並びの一室にあり、医師は私を含め3人、全職員60余名でした。

あれから30年、平成11年に病院の新築（現在の病院）、平成18年人工透析室の開設、平成23年未曾有の東日本大震災があり、その困難の中で同年5月「なでしこ川俣」の整備、光風園の経営移管と施設は増え、現在、済生会川俣地域ケアセンター全体では200人を超す職員数となりました。ここまでやってこれたのも、川俣を愛する皆様のお陰と感謝しております。体力の続く限り、皆様の邪魔にならない限り、もう少し済生会職員として頑張りたいと考えています。

～済生会永年勤続30年を迎えて～

紫田小百合

この度、横浜市で開催された済生会学会・総会において永年勤続表彰を頂きました。結婚を機に川俣に戻り、済生会の看護師として勤務してはや30年、あっという間でした。振り返れば、新しい職場で仕事に慣れることで精一杯だった10年目。仕事は充実していたけれど、2人の子育てとの両立が大変で悩みも多かった20年目。そして30年目を目前にして膝の手術というアクシデント……。

無事に手術を終えて職場に復帰してからも、膝の具合が思うようにいかず、正直なところ学会に出席できるのか不安でした。ましてや1月の寒い時期に痛みが出て歩けなかったりしたら他の方達に迷惑をかけてしまう……。しかし、主治医の先生をはじめ、外来師長、スタッフの皆さん、リハビリスタッフの皆さんのお陰で何とか無事に30年目も迎えることができ本当に嬉しく3日間を過ごしました。これから先どれくらい勤務できるか分かりませんが、自分の身体と相談しながら少しでも長く働けるよう頑張っていきたいと思います。何故なら、看護師の仕事が好きだから……。

今後ともよろしくお願い致します。

最後にお忙しい中、出席させていただきありがとうございました。

～第69回済生会学会・総会に参加して～

地域包括支援センター 齋藤正子

時間は確かに流れていて、20代と若かった私も人生を折り返し復路に入りました。その間いろいろな経験をさせていただきましたが、どういう訳か永年勤続表彰の時は在宅部門に勤務しており、10年の時は訪問看護、20年は在宅介護支援センター、そして30年は地域包括支援センターで迎えました。

今回は横浜、前泊で送り出していただき、土曜日は横浜中華街やランドマークタワーの観光をしました。中国の春節に当たる時期のためか何処も人混みで、背の低い私はかくれんぼ状態、人に酔ってしまいました。日曜日はパシフィコ横浜で学会・総会に参加、30年目に私が案内された座席は最前列でしたが、秋篠宮様のお席と逆方向、演台でお姿が・・・最後の機会と懇親会でお姿を目に焼き付けてきました。月曜日は、はとバスツアーでスカイツリーや浅草、隅田川の船下り、買い物などを満喫させていただきました。

いろいろと思い悩んだ日もありましたが、30年以上勤務できているのも、職員の皆様からの暖かな心遣いがあったからと感謝いたします。あと10年(?)は働き続けなければならない事情が来ました。もうしばらく面倒をおかけしますが、よろしくお願い致します。

20年表彰

～済生会学会・総会に参加をして～

安田和子

第69回済生会総会に出席させて頂きましてありがとうございました。

おかげさまで20年勤めさせて頂きました。振り返ればまったく経験のない仕事で助手という仕事に興味はあったものの、続けて行けるかどうか不安な日々もありましたが、スタッフの皆様のご指導と家族の協力・支えがあり、頑張れたのかなと思います。

40年ぶりの横浜の地を歩き、中華街では人混みの中を肉まんをほおばり、ランドマークタワーや目を見張る建物に驚くばかりでした。光り輝く夜景には、胸がキュンとなった夜でした。

学会のランチョンセミナーでは、お弁当を食べながらWマコトさんの話しに笑い、感動し楽しいひと時でした。コミュニケーションをはかり円滑に業務をこなす！どんな職場でも仕事でも一番大事な事だと痛感しました。これからも心にとめながら、仕事だけではなく人生を歩んで生きたいと思えます。

10年表彰

～済生会学会・総会に参加をして～

立川篤史

ある時「今度、うちの病院に初めて、男性看護師が入るらしいよ」と、少し話題になっていたことを先輩から伺いました。入社して10年…皆さんの支えがあったの今日。済生会が最初に病院を建てた横浜の地で第69回済生会学会・総会に参加をし、ワークライフバランスの講演発表もできました。大成功するようにと、多くの方々に支援を頂き感謝の思いでいっぱいでした。

学会をとおして私自身、思ったことがあります。それは、去年の熊本地震をはじめ各地で自然災害が起こる昨今、私たちは未曾有の東日本大震災を経験しました。そして、学会のテーマが「済生会の伝統継承と未来への挑戦」でした。このテーマを考えたとき、私たちは「震災6年目のレジリエンスや、地域包括ケアシステム、間もなく避難解除で故郷に帰還する住民への医療の提供等、川俣町の様々な情報を全国の済生会仲間に発信する一翼を担う大きな使命があるのではないか」と思いました。それを実践するためにも、済生会人として地域医療を支える一員として頑張っていきたいです。誠にありがとうございました。



～勤続10年を迎えて～

丹治江身子

平成18年4月に就職し、10年が経ちました。最初は思うように仕事が出来ず、いろいろ悩んだ時期もありましたが、周りの人に助けられ、支えられ今日まで来ることができました。職員の皆さんと家族に感謝します。ありがとうございます。

今回パシフィコ横浜での済生会学会・総会に出席させていただきました。広い会場の様々な会議室やホールで演題の発表が同時に行われており、聴きたい演題の会場を探すのも大変でした。ランチを食べながらのランチオンセミナーでは、元吉本芸人の放送作家の2人が講師となり、一流芸人のコミュニケーション術を例題に、和やかな雰囲気の中でわかりやすくコミュニケーションについて学ぶことができました。その後の大ホールで行われた総会は秋篠宮殿下御臨席を仰ぎ、永年勤続表彰などが厳かに行われました。総会終了後の懇談会会場のホテルまでの移動は、民族大移動を思わせるほどのたくさんの人の波に乗り、迷わず辿り着くことができました。人の波を目の当たりにし、本当にたくさんの人が済生会を支えているのだと感じました。

今後とも済生会人として、初心を忘れず頑張っていこうと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

～10年を振り返って～

済生会かわまた居宅介護支援事業所 神尾きぬ子

入職して10年表彰ということで、横浜市で開催された済生会学会、総会へ参加させていただきました。10年は本当に「アッと言う間」なんだとつくづく感じます。でも、振り返ってみるとこの10年は公私共に中身の濃い期間でした。前職場の居宅閉鎖の事態に困惑し、どうしても居宅ケアマネを続けたくて川俣病院へ就職させて頂きました。

月日は流れ、家庭では子供らの進学や結婚など、それぞれが将来に思いを描き独立しようとしていました。介護保険制度も社会や地域に定着してきており介護サービスの利用者も増え、また新たな仕組みも出来てきて充実してきた時期でもあります。

居宅は病院内で事業を実施していましたが平成23年3月、東日本大震災を経験。病院全体で力を合わせ困難を乗り越え、通常業務を再開しました。そして、その4月末には居宅事業所が春日診療所へ移転しました。また体調を崩し、思いもよらず入院したこともありました。

10年を振り返り、様々な出来事を私自身が乗り越え、やりたい仕事が続けられたのは、今思い返せば家族の協力はもちろんですが、なんとと言っても職場の上司・同僚に理解していただき支えられ、励まされてきたからなのだと改めて感じています。

新職員紹介

- ①誕生日・星座
- ②出身市町村名
- ③趣味・特技など
- ④私だけのひそかな贅沢
- ⑤自己アピール



サトウ ヒデカズ

理学療法士 佐藤 秀一

- ①11月13日 さそり座
- ②月舘町
- ③バスケットボール、ウェイトトレーニング
- ④毎日のプロテイン
- ⑤患者様の気持ちに寄り添える理学療法士として精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



カネヤス ユウ

作業療法士 金安 優

- ①8月25日 おとめ座
- ②伊達市
- ③神社巡り、テニス、ダーツ、音楽、ドライブ
- ④毎日のヨーグルト
- ⑤お笑いとお笑い番組を見るのが好きで、休日はテレビを見ているか、友達と出かけたりして過ごしています。若さ、力、根性で頑張りたいと思います。



タカノ マサコ

訪問看護ステーション所長 高野 昌子

- ①10月3日 てんびん座
- ②福島市
- ③LINEツムツムにはまっています
- ④1人温泉泊まりでリフレッシュ
- ⑤川俣町で働きだして気づけば9年目を迎えます。施設立ち上げから「あっ」という間の6年が過ぎ、4月から訪看への異動となりました。慣れない毎日ですが、頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



タカハシ アイリ

看護助手 高橋 愛里

- ①5月13日 おうし座
- ②伊達市月舘町
- ③カラオケに行くこと
- ④車でドライブに行くこと
- ⑤今年成人をむかえ大人になったところもあり、まだまだ子どもところもありますが、よろしくお願いいたします。



シンド ヒロキ

看護助手 宍戸 大樹

- ①4月24日 おうし座
- ②川俣町
- ③テレビ鑑賞、ゲーム、フライングディスク
- ④ポケモン人形を集める
- ⑤現場実習ではお世話になって、4月からは正式に採用となり頑張ります。病院の行事やイベントに積極的に参加したいと思っています。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。

ワタナベ リリカ



医事課 渡辺 璃々香

- ①11月11日 さそり座
- ②福島市
- ③映画鑑賞・バレーボール
- ④温泉に行くことで、友達と日帰り温泉して弾丸トークをすることが幸せです。
- ⑤今は分からないことだらけで覚えるのも一苦労ですが、一つ一つの業務をきちんと身に付けて、少しでも早く仕事に慣れて社会に貢献できるよう頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

ムトウ ユキエ



医事課 武藤 由貴江

- ①11月23日 いて座
- ②川俣町
- ③クロスワードパズル、すぐに眠れること
- ④グリコのプッチンプリンの大きいのを一人で食べる
- ⑤明るい事だけが取り柄ですが、何事にも一生懸命チャレンジしていきたいと思えます。

イトウ カツヨ



医事課 伊藤 和代

- ①4月5日 おひつじ座
- ②二本松市
- ③子どものバスケットボール部の追っかけです
- ④休日、朝4時に起き掃除をして、きれいになったリビングで寝ること
- ⑤どんな時でも、「まず笑顔」を心がけています。一日でも早く仕事に慣れ、信頼される存在になりたいと思います。よろしくお願いします。

サイトウ ユウキ



医事課 齋藤 優希

- ①5月26日 ふたご座
- ②川俣町
- ③スノーボード、ショッピング、映画鑑賞
- ④美味しい珈琲が飲めるお店を見つけたとき♪
- ⑤周りに対する思いやり、気配りを忘れずにどんな時でも明るく笑顔で仕事に取り組んでいきたいです。よろしくお願いします。

ソエタ ユキコ



総務課 添田 由貴子

- ①9月18日 おとめ座
- ②石川郡
- ③スポーツ
- ④ハーゲンダッツを食べること
- ⑤医療について分からない事ばかりですが、一生懸命勉強したいと思います。笑顔で頑張りますので、よろしくお願いします。

サイトウ マユミ



総務課 齋藤 真由美

- ①8月28日 おとめ座
- ②福島市
- ③テレビを見たり、ギョーザ作りをすること
- ④家族が寝た後に、映画を見ること。
- ⑤今回、初めて医療に携わることになり右も左もわからない事ばかりですが、一日も早く皆さんの顔を覚えたいと思います。よろしくお願いします。



外来診療予定表

平成29年10月1日より

| | | 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|------|----|-------------|---------------|-------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-------|------------------------------------------|
| 内科 | 午前 | 一診 | 8:45~11:30 | 佐々木俊教 | 数田 良宏 | 佐々木俊教 | 大庭 敬 | 大庭 敬 | 佐久間博史 大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制) |
| | | 二診 | 8:45~11:30 | 山口 鶴子 | 君島 弘子 | 佐久間博史 | 君島 弘子 | 君島 弘子 | 山口 鶴子 |
| | | 循環器 | 8:45~11:30 | | | | | | 済生会福島 総合病院 第2・4・5 |
| | | 小児科 | 8:45~11:30 | 粕川 禮司 | | | | | 渡辺 浩志 第1 |
| | | 糖尿病 外来 | 8:45~11:30 | | 済生会福島 本間美優樹 第1・3 | | | | |
| | 午後 | 13:00~16:00 | 佐久間博史 | 福島医大 | 数田 良宏 | 佐久間博史 | 君島 弘子 | | |
| 外科 | 午前 | 8:45~11:30 | | 福島医大 | 芳賀 志郎 | | 済生会福島 総合病院 | | |
| | 午後 | 13:00~16:00 | | 福島医大 | | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 8:45~11:30 | 福島医大 | | | | | 福島医大 | |
| | 午後 | 13:00~16:00 | | | 福島医大 | | | | |
| 泌尿科 | 午後 | 13:00~16:00 | 山中 直人 第2・4 | | | | 山中直人 診 察 14:30~ | | |
| 眼科 | 午前 | 8:45~10:30 | | | | 福島医大 | | | |
| | 午後 | 13:00~15:00 | 予約診療 第2・4 | | 福島医大 | | | | |
| 皮膚科 | 午後 | 13:00~16:00 | | | | 高橋 博 診 察 14:00~ | | | |



済生会川俣病院

電話 566-2323

FAX 566-2325

<http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 566-2707

FAX 566-2707

なでしこ川俣

電話 566-2661

FAX 566-2665

川俣町地域包括支援センター

電話 538-2600

FAX 538-2601

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 566-2657

FAX 566-2658

済生会川俣光風園

電話 566-3221

FAX 566-3331

平成29年4月1日より眼科の通常診療日が
変更となっております。

火・木 → 水・木 に